

整理番号 2018M-020
補助事業名 平成30年度 レーザポインタの安全・安心推進に関する標準化調査研究
補助事業
補助事業者名 一般財団法人 光産業技術振興協会

1 補助事業の概要

(1) 事業の目的

国際規格IECおよび日本工業規格JISのレーザ安全の基本規格が2014年度に改正されたにもかかわらず、レーザポインタを中心とする携帯型レーザ装置の事故が続いている。そこで、レーザポインタの安全・安心の見地から、各国のレーザポインタに代表される携帯型レーザ装置の標準化・法制度の現状を調査し、有効な標準化を整備するための準備を行う。また、シンポジウム開催により、レーザポインタの安全性に関する啓発を図る。

(2) 実施内容

① シンポジウムの開催 (<http://www.oitda.or.jp/main/one/074/optonews13625.pdf>)

平成30年度光産業技術標準化国際シンポジウムを、「レーザポインタの安全・安心」をテーマに、欧米のレーザ安全の権威を迎え、平成31年1月15日に東京で開催した。

② 標準化国際会議への出席

レーザ機器の安全性に関する標準化等の国際動向の調査を行うため、平成31年3月に米国オランダにて開催された、レーザ安全国際会議 (ILSC2019) 並びにIEC/TC 76 (レーザ機器の安全性) 標準化国際会議のWG 1及びWG 8中間会合に参加した。

③ 国際規格等の調査・翻訳

欧州規格として審議されている消費者用レーザ機器の安全規格および中国で策定中の消費者用レーザ機器の安全規格を調査した。また、国際規格IEC TR 60825-8「人体に照射するレーザ光の使用に関する安全指針」の本文及び附属書の主要部を和訳した。

2 予想される事業実施効果

① シンポジウムの開催

シンポジウム参加者が、日本のレーザポインタの安全・安心に係る現状と課題とを深く認識し、また、欧米のレーザポインタに代表される携帯用レーザ機器に対する法規制に関する情報に直接触れる機会となり、日本において同種の法制度を導入した場合の具体的なイメージがつかめたと期待される。

② 標準化国際会議への出席

IEC/TC 76会議及びレーザ安全性国際会議において、レーザポインタの安全・安心な使用法につながる消費者向けレーザ機器の安全性に関する標準化動向を把握できたので、レーザポインタの安全・安心な使用法に関する標準化を検討していくうえで大いに参考にて

